

<http://www.ddbank.net/cgi-bin/webapp/wiki.cgi?page=SQL+PLUS%A5%B3%A5%DE%A5%F3%A5%C9>

http://docs.oracle.com/cd/E16338_01/server.112/b61353/toc.htm

<http://www.shift-the-oracle.com/sqlplus/command/>

コマンド	内容
@	ファイルの内容を実行（詳細は START 参照）
@@	ファイルの内容を実行（詳細は START 参照）
@?	ファイルの内容を実行（詳細は START 参照）
n	カレント行を n にする
/	バッファ内の SQL、PL/SQL ブロックを実行（SQL バッファ非表示）
ACCEPT	ACCEPT vData PROMPT 'vData' を入力する。'
APPEND	行末にテキストを追加
ARCHIVE LOG	アーカイブログ運用の設定と状態表示
ATTRIBUTE	オブジェクト型列の表示書式を設定
BREAK	
BTITLE	下部に指定のタイトルの書式設定
CHANGE	SQL バッファの文字を置換
CLEAR	画面、バッファ、書式、タイマーの設定などの初期化
COLUMN	カラムの書式指定（書式モデル）
COMPUTE	
CONNECT	データベースへの接続
COPY	下位互換用
DEFINE	ユーザー定義定数の設定と表示
DEL	SQL バッファの一部を削除
DESCRIBE	スキーマオブジェクトの仕様を表示
DISCONNECT	データベースから切断
EDIT	ホストのエディタを使用した編集
EXECUTE	PL/SQL ブロックの実行
EXIT	SQL*Plus の終了
GET	ファイルの内容を SQL バッファに読み込む
HELP	オンライン・コマンドヘルプ
HOST	シェルでコマンドの実行

INPUT	文字列の追加 (単独の場合には複数行追加可能)
LIST	SQL バッファ内を表示
PASSWORD	パスワードの変更
PAUSE	処理の一時停止
PRINT	バインド変数の内容を表示する
PROMPT	メッセージの表示
RECOVER	データベースのリカバリー
REMARK	コメント行
REPFOOTER	
REPHEADER	
QUIT	EXIT コマンドのエイリアス
RUN	バッファ内 SQL、PL/SQL ブロックを表示し実行
SAVE	SQL バッファの内容をファイルに保存
SET	システム変数を設定する
SHOW	メモリ、システム変数、初期化パラメータなどの表示
SHUTDOWN	オラクルの停止
SPOOL	出力結果をファイルへ出力の開始と終了
START	ファイルの内容を実行
STARTUP	オラクルの起動
STORE	
TIMING	タイマーの設定、表示と解除
TTITLE	上部に指定のタイトルの書式設定
UNDEFINE	ユーザー定義定数の削除
VARIABLE	バインド変数の定義
WHENEVER OSERROR	OS レベルのエラー発生時の例外処理
WHENEVER SQLERROR	SQL レベルのエラー発生時の例外処理

EDIT コマンド

EDIT コマンドの構文

EDIT [ファイル名 [. 拡張子]]

短縮形

ED [ファイル名 [. 拡張子]]

ファイル名を省略した場合には afiedt.buf というファイル名 (2) で SQL バッファの内容を保存してエディタを起動する。

エディタを起動している間は SQL*Plus の操作はできない。 (3)

(2) システム変数 EDITFILE で保存ファイル名を変更可能 (set editfile sqlplus.tmp)

(3) Windows の旧バージョンのオラクルでは編集中でも SQL*Plus がモードレスで操作できてしまうものもある。

LIST コマンド

LIST コマンドの構文

```
LIST
LIST n
LIST n m
```

短縮形

```
L
L n
L n m
```

n と m には行番号の他に アスタリスク (*) と LAST というキーワードを指定することができる。

アスタリスク (*) はカレント行をあらわすキーワード、LAST は最終行をあらわすキーワードである。

また 行番号だけを入力すると LIST n と同じ操作になる。

SPOOL コマンド

SPOOL コマンドの構文

```
SPOOL [file_name[.ext]] [CREATE | REPLACE | APPEND]
SPOOL OFF
SPOOL OUT
```

CREATE オプションは Oracle 10g からの機能

短縮形

```
SPO [file_name[.ext]] [CRE | REP | APP]
SPO OFF
SPO OUT
```

SPOOL filename の形式が出力開始設定、SPOOL OFF が出力停止設定となる。SPOOL OUT はプリンタ直接出力命令であるが Windows では利用できない。

sqlplus

sqlplus

gqlplus フロントコマンドを使って、Oracle プログラム sqlplus を行編集、履歴、テーブル名とカラム名の補完機能の終わりです。それ以外の場合は、ユーザーインターフェイスは、sqlplus とのと同じです。コマンドラインの編集など、bash で動作 / tcsh シェル。
(このプロジェクト概要は機械翻訳されたものです)